

われら自身のもの (1950)

OUR VERY OWN

メディア 映画

ジャンル

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 93分

初公開日 1951/05/22

公開情報 大映洋画部

【解説】

主人公の家に、彼女の恋人である家電屋の青年チャック（グレンジャー）らがテレビを取りつけに来る冒頭の設定が、いかにも時代を表して興味深い。ここで映画は要領よく登場人物を紹介し、特に末娘のベニー（ウッド）の無邪気な個性を印象づける。ゲイル（ブライス）は高校卒業を間近に控えた18歳。妹のジョーンは背伸びしたい盛りで、秘かに姉の恋人のチャックに憧れている。彼女が夏休みのバイトのため、出生証を出した折、姉の養子縁組の書類を見つけ、喧嘩をしたときに、ついその秘密を明かしてしまう。ショックを受けたゲイルだが、実母に独り会いに行く。あらかじめ母親同士が会って、訪問日も取り決めてのことだったが、その日、急な来客で実母は取り乱し、赤ん坊以来会う娘に優しい言葉一つかけてやらなかった。しかし、過去を夫に隠すことで現在の幸福を維持している実母を心では理解する。ゲイルはしばらくは家族に対しぎこちない態度をとるが、卒業式総代の挨拶で改めて両親に謝意を述べ、家庭の大切さを訴えるのだった。ゲイルの真実の受け止め方が細やかに描かれ、優等生的結末も無理なく伝わる。ロサンジェルス典型的な中流の暮らしが淡々とリアルに描かれる青春ホームドラマ。実母を訪ねるシーンが取り分けよく演出されていた。

【クレジット】

監督	デヴィッド・ミラー	David Miller
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn
脚本	F・ヒュー・ハーバート	F. Hugh Herbert
撮影	リー・ガームス	Lee Garmes
音楽	ヴィクター・ヤング	Victor Young
出演	アン・ブライス	Ann Blyth
	ファーリー・グレンジャー	Farley Granger
	ジョーン・エヴァンス	Joan Evans
	ジェーン・ワイアット	Jane Wyatt
	ナタリー・ウッド	Natalie Wood
	ドナルド・クック	Donald Cook